

कोरोメソッド

絵画療法

絵画療法士 むらたか えこ 村田家恵子

絵画療法「 कोरोメソッド」は、
絵を描くことをとおして、
感情に働きかけ、
心の調和をはかり、
体の慢性的な病気を治療します。

アジア初

村田家恵子は、アジアにおける
 कोरोメソッドの第一人者です。

マンツーマン

セラピストと患者が対面でセッションを行います。

1 クール制

2ヶ月を1クールとし、1回約1時間、
週2回のペースでセッションを行います。
(1クール終了後数ヶ月程度のお休みをとります。)

水彩と木炭

木炭を使って白黒の絵をかく場合と、
水彩絵の具を使ってカラーの絵をかく
場合があります。

木炭画（白黒）によって、基本的な
心の構造を整えていきます。そして、
水彩画（カラー）を通して、より豊かに
感情に働きかけ、肉体に反映させて
いきます。

人間を建物にたとえたとすれば、木炭
画（白黒）は、建物の鉄筋構造や柱
の構造部分にあたり、より構造的・基
本的なところを表します。水彩画（カ
ラー）は、建物のきれいな壁紙がは
られた壁面や部屋の空間にあたるこ
ろを表します。

光と闇

光と闇。コロメソッドにおいては、この2つの要素が世界を創造する原因であり、元素であると定義づける。

そして、描かれた絵において、この2つの要素のはたらきを観てゆくことが、内的空間を観るための基本となる。

光は、「明るさ」という性質を持つ。

光は光源から周辺へと進み、その影響を与えられる限り全てを照らそうとする。「明るさ」でもって世界の姿を、形を明らかにする。輪郭を明らかにし、境界を設定する。モノとモノを分け、自と他を分け、空間を形成する。

闇は、「熱（暖かさ・熱さ）」「力」「エネルギー」という性質を持つ。

世界そのものを貫き、浸透しており、満ちし、包み込む。中心も周辺も無い。分かれたモノ、ひいては自と他の境界を溶かし、結び付け、一つにする。引力、あるいは、重力であるとも言える。また、未来に向けて担ったモノを運んでゆこうとする衝動である。

コロメは、光に対する根源的なこの要素に対し、他に当てられる言葉が無かったからという消極的な理由のもとに「闇 (darkness)」という言葉に当てた。つまり、一般に「闇」という言葉から連想される「悪しきもの」という概念は含まれてはいない。

この3つの領域が、どのようにかわりあいながら世界を創っているかを、絵の画面（つまり、「窓」）を通して、切り取った空間として観察する。この絵の空間がいわゆるマクロコスモスに対するミクロコスモスであり、人間の「内的空間」の映し絵となるわけである。

コロメソッドにおいては、この「光」「闇」「色彩」を「三分節」と呼ぶ。

光は「時間」に、闇は「空間（場）」に関係しており、互いに働き合っている。どちらか一つのみで存在することはなく、いずれか一方が働く（活動する）ときには、必ずもう片方の働き（活動）がある。それぞれの働き（活動）を別々に認識し解釈することはできるが、2つを別々に分かつことはできない。（もし、それが出来たときには「世界」は存在していないこととなる。）

そして、この2つのエレメントが互いに「出会い」、働きかけあうことによって、動くための衝動を内に秘めた「闇」が動き出し、「動き」が生じ、「動き」によって初めて活動の「空間」が生じる。

「空間」とは、幅、高さ、奥行きを備えた「場」のことであり、上部の極性と下部の極性との中に生じる中間領域であり、天と地の間にかかる「虹」の領域である。その性質は、「動き」「仲介」「ハーモニー」「バランス」「生とリズムを与えること」などである。つまり、地球上の自然現象・感覚世界の中では「大気中の色彩」として現れる。

| | 地球上の自然現象・感覚世界への現れ方 | 精神的な次元への表れ方 | 肉体的な次元への表れ方 | 時間的性質 |
|----|--------------------------|---|------------------------------------|---------------------|
| 光 | 「視覚化」 「軽減化」 「日中の光」 | その活動や働き 「霊的・精神的なもの」 「意識」 「思考・精神」 | 「上部（の極性）」 「神経・感覚システム」 「神経」 | 「過去」 既に明らかになったもの |
| 色彩 | 大気中に現れる色彩。 | 「夢意識」 「情緒」 「ムード」 「感情」 | 「呼吸と循環のリズムのシステム」 | 「現在」 今姿を現しつつあるもの |
| 闇 | 「物質化」 「重力」 | 「潜在意識」 「生命力」 「意志」 | 「下部の極性」 「血液」「四肢」 「血液・代謝システム」 | 「未来」 未だ見ぬもの |

適応症

色の簡単な説明と効果があるとされている病症を簡単に紹介します。

通常、一色で治療効果を引き出すのではなく、各個人の心の空間から引き出した色彩のコンビネーションによって治療にあたります

| 色彩 | 説明 | 効果・適応症 |
|-------------------|---|--|
| マゼンタ (牡丹色) | 精神が物質に結びつけ、そして浸透する時、「扉」の役目をする第1番目の色です。創造的な生命力の強いパワーがあります。 | 「心の働き」を助けます。肉体の諸器官全体を統合し、結びつけ、バランスとハーモニーを与えます。神経炎、パーキンソン病、喘息、など。 |
| カーマイン (深紅色) | 意志の領域と大地(地球)と深く結びついており、熱(エネルギー)と深く関わりがあります。心=心臓を養い、人間の愛とはどのような姿かを示します。 | 慢性の病気を持つ人、内なる静けさを得られない人、鬱症、神経炎、など。 |
| ヴァーミリオン (朱色) | 自意識の始まりの気分をもたらし、消化システムの中の物質変成の形成力と深く関わりがあります。 | 体温が低くネガティブな傾向にある人、頭痛、便秘、リウマチ、関節炎、など。 |
| オレンジ (橙色) | アクティビティーに対するエネルギー、「力」「高揚感」「エネルギー」の気分を高め、「安定性」へと発展して行きます。肝臓と深く関わっています。 | 消化～排泄プロセス全体に効果、肝臓、胆嚢と脾臓のバランスを取り、化学的プロセスに対しても深く関わります。小児麻痺、など。 |
| イエロー (黄色) | 暖かさ、意志の力、未来、喜びを体験する。精神と神経システムと意識のプロセスに深く関わっています。 | 健康的に働くと腸に良く働きかけます。小児麻痺、喘息、など。 |
| イエローグリーン (黄緑色) | 希望と若さ、無邪気さと喜び、そして「生」への信頼を与えます。腎臓や肺に関係しています。 | ヒステリー、消化器官(「腹下し」など)、喘息など。 |
| グリーン (青緑色) | 「霊的な光」を体験する時に会おう色。心にとって、「時間」という体験を与えます。主たる治療の色彩です。 | 癌、糖尿病、癲癇、など。 |
| ターコイズ (トルコ色) | 「冷たさ」を内包し、清浄で新鮮な輝きで、呼吸を助けます。 | 1部のヒステリー、神経衰弱症(熱を伴う病気とともに)、など。 |
| コバルトブルー (青色) | はっきりとした日常意識を与え、空間を体験する能力を与え、物事をシャープに見る可能性を与えます。それゆえ、人は直立し、バランスを保つことができます。 | 膀胱、骨格、腺関係の症状、内分泌の促進、夜尿症、結核、など。 |
| インディゴ (藍灰色) | 神秘的な色。熱さと冷たさの間でちょうどよい温度を感じさせます。崩壊と骨化による凝集のバランスをとります。 | 薬物中毒症、自閉症、心臓・循環器障害、鈍磨・虚脱、便秘、萎縮症、など。 |
| ヴァイオレット (紫色) | 宗教性・精神性を自分の思想の中に持ったとき、ヴァイオレットの本質を体験できます。睡眠のとき、肉体を去り、境界をこえてゆくのを助ける色彩です。 | 精神分裂症、習慣性のある思考からの開放、1部の皮膚の症状、など。 |

人智学とカラーメソッド

絵画療法カラーメソッドは、ルドルフ・シュタイナー博士が提唱した思想に基づく人智学運動の流れの中で生まれました。シュタイナー博士と共に医学面の研究活動をしたイタ・ヴェークマン医学博士と画家リアーヌ・コロア・デボアが研究し、開発をおこないました。

人智学系の絵画療法としては、マルガレーテ・ハウシュカ医学博士が研究開発した「ハウシュカ・メソッド」をご存知の方も多いと思います。「ハウシュカ・メソッド」は、心の世界におけるシンボリックな側面を強く持つことにより、物語(ストーリー)性が強く鑑みられるので、精神面における力強い進歩的な面を促進・強化し、また、教育的効果を期待できます。これに対して、「カラー・メソッド」は心の世界観の構造的な面において強力にアプローチし、心の調和を取り戻すことを通して、より具体的に肉体に働きかけ、肉体臓器の慢性的な病気への治療効果を期待できます。

セラピーセッションを行った方の症例

(2003年9月現在。オランダと日本にて。)

- 筋萎縮性側索硬化症
- 脊髄の炎症、眼の炎症的な自覚症状
- 代謝機能の低下・嘔吐
- 心臓不整脈と心拍増加の発作
- 原因不明の日常生活に支障をきたす身体のだるさ・疲れ、肩・手・首の痛み、偏頭痛、脊髄の歪み。
- 原因不明の疲れ、身体の虚弱、日常生活を脅かす原因不明の睡眠の増加。
- 乳がん（リンパ腺）と子宮の腫瘍のため、2回の摘出手術。現在、再発はないが、頭部と背の痛みとひどい体温の低下を自覚する。
- 日常生活のストレスからくる鬱的症状
- ヒステリー症（気質）

現在、アトリエ藤ヶ丘（愛知県尾張旭市）と、船戸クリニック（岐阜県養老町）にて、セラピーセッションを行っています。

また、 कोरोメソッドを取り入れた絵画の制作や、絵画療法のセミナーも開催しています。

お問い合わせは、

090-2927-3856

村田まで
(セッションの予約もこちらの番号へ)

eメールアドレス：
kai@bindbehind.com

URL:
<http://www.bindbehind.com/>

有限会社 ビズアート

〒488-0823

愛知県尾張旭市庄南町 2-4-3-507

Tel: 052-779-2816

Fax: 052-779-2806



bzart.net

ビズアート